

平成27年3月期第3四半期連結決算 及び 平成27年3月期連結業績予想(IFRS)ハイライト

(単位:億円)

経営成績	当第3四半期連結累計期間			前年同期	増減	
	上半期	第3四半期	当3Q累計		比率(%)	
収益	27,476	14,194	41,670	43,241	△ 1,571	△ 3.6
売上総利益	4,202	2,205	6,407	6,500	△ 93	△ 1.4
販売費及び一般管理費	△ 2,814	△ 1,510	△ 4,324	△ 4,230	△ 94	
有価証券損益	93	129	222	182	40	
固定資産評価損	△ 8	△ 732	△ 740	△ 63	△ 677	
固定資産処分損益	4	△ 3	1	89	△ 88	
雑損益	△ 84	△ 125	△ 209	3	△ 212	
利息収支	△ 79	△ 52	△ 131	△ 103	△ 28	
受取配当金	769	198	967	1,014	△ 47	
持分法による投資利益	1,038	461	1,499	1,303	196	
法人所得税前利益	3,121	571	3,692	4,695	△ 1,003	△ 21.4
法人所得税	△ 792	△ 276	△ 1,068	△ 1,348	280	
非支配持分	△ 102	22	△ 80	△ 178	98	
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	2,227	317	2,544	3,169	△ 625	△ 19.7
四半期包括利益 (親会社の所有者に帰属)	3,434	1,009	4,443	5,080	△ 637	△ 12.5
EBITDA(※1)	4,621	2,033	6,654	6,180	474	7.7

※1 売上総利益 + 販売費及び一般管理費 + 受取配当金 + 持分法による投資利益 + 減価償却費及び無形資産等償却費

財政状態	平成26年 12月末	平成26年 3月末	増減
総資産	126,823	114,913	11,910
親会社の所有者に 帰属する持分	41,366	38,158	3,208
有利子負債 (現預金等控除後)	34,389	31,788	2,601
ネットDER(倍)	0.83	0.83	0.00

【総資産】  
相場変動の影響によるその他の金融資産の増加により、流動資産が増加。また、新規投資により持分法適用会社に対する投資、有形固定資産が増加。  
【親会社の所有者に帰属する持分】  
FVTOCIの金融資産減少の一方、米ドル高に伴う外貨換算調整勘定、利益剰余金が増加。

主な増減要因
【収益】 エネルギー: 三井石油の売却、石油トレーディング取扱数量減 鉄鋼製品: LNGプロジェクト向け鋼管出荷前年度終了 米州: 大豆取扱数量増
【売上総利益】 金属資源: 鉄鉱石価格下落 鉄鋼製品: LNGプロジェクト向け鋼管出荷前年度終了 機械・インフラ: 一般商船取引の隻数回復
【販売費及び一般管理費】 円安による負担増
【有価証券損益】 Silver Bell Mining及び上海森茂の出資持分売却 (前年同期 Penske株式の評価損戻入)
【固定資産評価損】 石油・ガス生産事業(イーグルフォード、北海) (前年同期 未開発石炭鉱区)
【固定資産処分損益】 小口の集積 (前年同期 油田権益の売却益)
【雑損益】 探鉱費用、石油・ガス生産事業(北海)の暖簾減損損失 (前年同期 探鉱費用、為替利益)
【利息収支】 前年同期と同水準
【受取配当金】 LNGプロジェクトからの配当金減少
【持分法による投資利益】 増加・Valepar Vale税務関連損失の反動、鉄鉱石価格下落 ・MLCC及びArch 前年同期 固定資産等の評価損 減少・AcruX チリ税制改正による繰延税金負債の追加計上 ・RRMC 鉄鉱石価格下落 ・ENEOSグループ LPG価格下落に伴う在庫評価損

キャッシュ・フロー	当3Q累計	前年同期
営業活動	4,690	3,659
投資活動	△ 2,575	△ 5,417
(フリーキャッシュ・フロー)	2,115	△ 1,758
財務活動	△ 590	875
基礎営業 キャッシュ・フロー(※2)	5,685	5,032

※2 営業活動によるキャッシュ・フロー - 営業活動に係る資産・負債の増減によるキャッシュ・フロー

オペレーティング・セグメント情報	<EBITDA>			<四半期利益(親会社の所有者に帰属)>			
	当3Q累計	前年同期	増減	当3Q累計	前年同期	増減	主な増減要因
鉄鋼製品	91	180	△ 89	47	125	△ 78	・LNGプロジェクト向け鋼管出荷前年度終了 ・鋼材取扱数量減
金属資源	1,527	1,678	△ 151	637	672	△ 35	・鉄鉱石事業 円安及び数量増の一方、価格下落 ・前年同期 Vale税務関連損失
機械・インフラ	527	369	158	301	224	77	・一般商船取引の隻数回復 ・物流インフラ事業・ガス配給事業堅調
化学品	151	200	△ 49	43	73	△ 30	・米国電解事業市況悪化
エネルギー	3,539	3,192	347	957	1,670	△ 713	・石油・ガス生産事業の減損 ・LNGプロジェクトからの受取配当金減
生活産業	149	160	△ 11	0	76	△ 76	・Multigrain Trading 集荷・販売事業不調 ・上海森茂株式売却益
次世代・機能推進	△ 65	△ 228	163	△ 25	△ 69	44	・前年同期 MCRM商品デリバティブ取引不調
米州	295	222	73	206	138	68	・Silver Bell Mining出資持分売却益 ・Novus メチオニン価格上昇
欧州・中東・アフリカ	△ 6	0	△ 6	32	16	16	・税関連の一過性利益
アジア・大洋州	△ 12	2	△ 14	224	288	△ 64	・価格下落に伴う豪州鉄鉱石事業の持分業績減
合計	6,196	5,775	421	2,422	3,213	△ 791	
その他及び調整・消去	458	405	53	122	△ 44	166	
連結合計	6,654	6,180	474	2,544	3,169	△ 625	

平成27年3月期 年間業績予想	業績予想 (今回公表)	前回予想 (昨年11月公表)	前期 (平成26/3期)
売上総利益	8,400	8,200	8,801
販売費及び一般管理費	△ 5,800	△ 5,800	△ 5,749
有価証券・固定資産 関係損益等	△ 600	100	△ 344
利息収支	△ 200	△ 200	△ 155
受取配当金	1,100	1,200	1,240
持分法による 投資利益	1,700	2,100	1,712
法人所得税前利益	4,600	5,600	5,505
法人所得税	△ 1,200	△ 1,600	△ 1,767
非支配持分	△ 200	△ 200	△ 237
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	3,200	3,800	3,501
EBITDA	8,200	8,500	8,196

一株あたりの 配当金(円)	中間 (実績)	期末 (予想)	年間 (予想)	配当性向
当期予想	32.00	32.00	64.00	※3
前期実績 (平成26年3月期)	25.00	34.00	59.00	30.7%

※3 当期利益(親会社の所有者に帰属)3,200億円を前提に64円/株を維持した場合の配当性向は35.9%

<参考> 主要指標推移	当3Q累計	前年同期
為替 (円/米ドル:期中平均)	107.75	99.80
為替 (円/豪ドル:期中平均)	96.54	93.06
金利 (円TIBOR3M平均)	0.20%	0.23%
金利 (米ドルLIBOR3M平均)	0.23%	0.26%
当社連結油価 (米ドル/bbl)	\$109/bbl	\$110/bbl
	平成26年 12月末	平成26年 3月末
為替 (円/米ドル:期末レート)	120.55	102.92
日経平均 (期末終値)	17,450.77	14,827.83

(注) 本資料における業績予想や将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手している情報及び本資料発表日現在における将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、決算短信19ページの(1)平成27年3月期連結業績予想を、将来に関する記述に係る注意事項については23ページの3.その他の情報【注意事項】をご覧ください。